

校訓「自主自律」

群青



学校教育目標「志を持ち 学び合い 高め合う生徒」

令和2年度 小山町立小山中学校 学校だより 第8号 9月24日(木)

感動的な群青祭 幕を閉じる

校長 櫻井 雅彦

新型コロナウイルス感染予防対策のため、当初開催が危ぶまれていた群青祭ですが、17日と18日に開催することができました。群青祭を開催するにあたり、いくつかの問題点がありました。3密を避けるためにはどうしたらいいか。3か月間の臨時休校の影響で授業時数がひっ迫している中で十分な準備ができるか。中途半端な開催で生徒は達成感を得られるのか。3密を避けるためには、保護者の入場を御遠慮いただき、無観客にせざるを得ませんでした。しかし、生徒の頑張る姿を保護者や地域に方々にも見ていただきたいと思い、小山中のホームページに動画を掲載することとしました。

体育の部では競技種目を見直し、いくつかの種目を削減し、全校生徒が一つになれる「全校パフォーマンス」をプログラムに追加しました。合唱に至っては6月の頃は音楽の授業で歌を歌うことすら禁じられていました。しかし、小山中学校のグランドデザインには「響く歌声」という文字が入っています。これは、昨年度末、生徒や教職員から「合唱を中心とした学校づくりがしたい」という声が上がったからです。4月には北駿音楽会の中止が伝えられ、他市町の中学校からは合唱コンクールの中止の情報が入ってきました。幸い小山中学校には多目的ホールと連続した音楽室や各階にラウンジと呼ばれる広いホールがあります。これらを活用し感染症対策に配慮しながら練習を続けてきました。

体育の部の「全校パフォーマンス」で生徒たちのはじける笑顔をたくさん見ることができました。また、どの競技においても自分の力を精一杯出そうとする姿とそんな仲間を一生懸命に応援する生徒の姿が見られました。特に際立ったのが3年生の姿です。中体連がなく、部活動での3年生の勇姿を見ることができなかつた下級生に、大きな感動を与えることとなりました。文化の部は、「チームさきがけ」による「ソーラン」で始まりました。夏の吹奏楽コンクールが中止となり、発表の場がなかった吹奏楽部ですが、新体制での最初で最後の観客を前にした演奏が行われました。各学級の合唱は、日頃の練習の成果が発揮され素晴らしいものでした。一つの曲をここまで仕上げることは、決して簡単なことではありません。時には、悩み、苦しみ、辛い思いをしたこともあるでしょう。しかし、それらを乗り越え、今日を迎えたことに大きな意味を感じました。

生徒会役員を中心に、それぞれの生徒が今できることを考え精一杯取り組んできました。この群青祭は、「コロナだからできない」ではなく「コロナだからできること」を考え、実践する機会となりました。この行事を通して、生徒たちは「気づき、考え、判断し、行動する生徒」に、確実に一歩近づきました。

感動の群青祭

新型コロナウイルスの影響で今年度の群青祭は無観客で半日の開催となりましたが、スローガン「百歌繚走(ひゃっかりょうらん)～今、当たり前素晴らしさを伝えよう～」のもと、小山中生の力を結集し、思い出に残る素晴らしい群青祭となりました。



体育の部では、綱引き、長縄、リレーに一人一人が必死に頑張れたこと、競技をしている仲間を一生懸命に応援できたこと、実行委員や種目責任者、各係として自分が担当する仕事に責任を持って成し遂げたことなど、どれも立派でした。また、今年度初めて行った全校パフォーマンス(ダンス)も短時間の練習の中で一体感のある演技となり、小山中の新たな一步を踏み出すことができました。



文化の部では、さきがけによるソーランで開会し、吹奏楽部の演奏が会場を大いに盛り上げました。コロナ禍で合唱に制限があったものの、合唱で学校を盛り上げたいという生徒会本部の思いを大切に、今まで練習や取組を工夫し、当日は学級合唱、全校合唱を披露しました。特に、全校合唱「群青」は感動を呼ぶものとなりました。この曲は、東日本大震災の影響を受けて被災した福島県南相馬市立小高中学校で生まれたものです。津波の犠牲や原発の影響による避難で多くの仲間がいなくなったそうです。この曲の中に「当たり前が幸せと知った」というフレーズがあります。今年度は長期間の休校で、学校に来て仲間と勉強や部活動をしたり、一緒に合唱をしたりするという「当たりのありがたさ」に多くの生徒が気付いたはずです。スローガンにあるように、当たりの素晴らしさをこの全校合唱で伝えられたと思います。

小山中の代名詞とも言われる「群青」とは、昭和24年に制作された校旗の色が深い藍青色(群青色)であったことから、作詞者の土岐善麿氏が校歌に「希望の色の群青深く」と作詞し、昭和25年に校歌が完成しました。また、小山中が活気ある「青年(青春)」で大勢群れる小山町の中心校であったこと、「ぐんじょう」という響きが多くの方々に愛され、親しまれたこともあり、新聞や文集に使われ、学校祭や学校だよりも「群青」が使われるようになりました。小山中の歴史を後世に引き継ぐとともに、今後も「群青」を歌い続けていってほしいと願います。



SDGs講座

小山中学校では、新聞を活用したNIE学習を進めています。新聞の中からSDGs（持続可能な開発目標～世界を変えるための17の目標～）に関連したものを各自がスクラップして感想をまとめています。8月3日(月)に(株)臼幸産業総務部長の臼井康晴 様（SDGsコーディネーター）を講師に招き、「明日からできるSDGs」について学習しました。食品ロスや森林、防災について分かりやすく説明していただきました。当日は密を避けるため、リモート(オンライン)で各教室に配信をしました。身近なものから取り組んで、持続可能な開発目標を一人一人が意識していけるといいと思います。生徒の感想を紹介します。



2年2組 杉山 結愛さん

最近私はペットボトルを集めています。親は「そんなにきっちりやらなくても大丈夫だよ」と言いますが、1週間で3本、1か月で10本、1年で120本にもなるので、きっちりやっています。今回の話を聞いて、自分の考えは間違っていなかったと分かってよかったです。そして、これからも続けていきたいと思いました。レジ袋や省エネについても気を遣っていききたいと思います。

1年2組 小野 優音さん

地球温暖化を進めているのも、止めるのも人間なので、この取組は少し難しいと思いました。しかし、今までできなかったことや今までやってきたことについて、少し考えてみました。私は買い物をするのが好きです。その時にレジ袋を使ってよかったのかと思うことがありました。今では有料となっているレジ袋と関連していると改めて感じました。明日からはあまりレジ袋を使わないようにしようと思います。他にも17の目標を少しずつ意識して取り組んでみようと思います。

NIE講座

SDGs講座を受け、8月27日(木)には静岡新聞社御殿場支局の記者、矢嶋宏行 様を講師に迎え、NIE講座をオンラインで開催しました。まずは、新聞の構成（総合、県内政治、国際、スポーツ、地域、社会など）から記事を探す方法や見出しから記事を探す方法について分かりやすく説明していただきました。そして、記事の読み方は、リード文（第1段落）をしっかり読むことで大筋が分かるということも教わりました。最後は、新聞のよさについても理解を深めることができました。今回の講座を通して、これからさらに新聞に親しんでいけるとと思います。



静岡県駿沼学校生活協同組合よりお知らせ

8月に開催された第70期通常総代会において、現在御契約されている「災害共済事業」の事務軽減を図るという理由から同事業を廃止し、新たに関係市町と締結された「災害時学習活動支援に関する協定書」に基づき、災害時に学習活動支援（衛生用品、学用品、体育衣料の無償提供等）を行うことが承認されました。つきましては、1口当たり50円の掛け金を返金しますので、御理解と御協力をお願いします。（小山中では、返金額を学年費として使わせていただくことを申し添えます。）

10月の行事予定

～10月9日

部活終了 17:00

完全下校 17:15

10月13日～

部活終了 16:45

完全下校 17:00

日	曜	給食	行事予定
1	木	○	あいさつ運動 期末テスト①
2	金	○	期末テスト② 英語検定
3	土		
4	日		
5	月	○	教育実習開始～16日
6	火	○	全校集会 辞令伝達 駅伝壮行会
7	水	○	
8	木	○	
9	金	○	
10	土		中体連東部地区駅伝競走大会
11	日		
12	月	○	
13	火	○	専門委員会
14	水	○	
15	木	○	歯科検診
16	金	○	読み聞かせ
17	土		
18	日		
19	月	○	
20	火	○	生徒集会
21	水	○	
22	木	○	
23	金	○	
24	土		修学旅行①(3年生)
25	日		修学旅行②(3年生)
26	月	×	修学旅行③(3年生) 職場体験①(2年生) 職場見学(1年生)
27	火	○	学年集会 3年生代休 職場体験②(2年生)
28	水	○	3年生代休
29	木	○	生徒総会 集金日
30	金	○	前期終了 通信票配付
31	土		

6日(火)から更衣準備期間となります。気温に応じて夏服、冬服での登校をお願いします。27日(火)に完全更衣となります。体育着登校は5日で終了です。

中体連の東部駅伝大会が裾野運動公園陸上競技場を中心とした周回コースで行われます。毎日厳しい練習に励んできた選手が県大会出場を目標に精一杯力走します。今年度は男子のみの参加となります。なお、応援につきましては、登録選手の保護者1名のみとなりますので、御理解と御協力をお願いします。

3年生は京都・奈良へ2泊3日の修学旅行へ出かけます。感染予防のため、バスでの移動となりますが、古都の歴史と文化に触れてきます。

2年生は2日間にわたり、御殿場市・小山町内の各事業所へ出向き、職場体験を行います。

1年生は職場見学として、町内企業見学、未来拠点事業推進地等を視察して、見聞を広めます。

26日(月)は1年生・2年生は弁当となりますので、準備をお願いします。

人事管理訪問

9月8日(火)に静岡教育事務所地域支援課参事の村松尚子様をお迎えして、授業での生徒の様子を参観していただきました。落ち着いた雰囲気での授業、環境整備された校内等、小山中のよさをたくさん褒めていただきました。そして、コロナ禍だから行事やイベントをやめるのではなく、コロナ禍だからこそ、何かを考え出してやってみようとする学校の姿勢に共感されていました。これからは「やってみよう」という前向きな姿勢で取り組んでいきたいと思えます。小山町教育委員会教育長の天野文子様、専門監の小見山浩二様にも授業を参観していただきました。ありがとうございました。



小山中学校 WEB サイトにアクセスを! (日々更新中)

<http://www.fuji-oyama.jp/cgi-bin/schoolhp/06oyama/index.cgi> (掲示板)

http://www.fuji-oyama.jp/index_school_08oyama.html?vt=sp (学校だより)

